

二松學舎大学人文学会

# 第一〇八回大会

日時

平成二十五年十二月二十一日(土)  
十三時〜(開場十二時三〇分)

会場

二松學舎大学九段キャンパス三号館  
三〇三三教室・三〇二二教室

講演 13時00分〜14時00分

3031教室

## 文人研究から学芸の共和国へ

講演者 高橋 博巳氏 (金城学院大学文学部教授)

研究発表 14時20分〜17時15分

### ◆第I会場 (3031教室)

メディアの〈不安〉作用と幽霊表象

― 〈不安〉シミュレーターとしてのJホラー ―

鈴木 潤 (二松學舎大学文学部国文学科4年)

〈連載小説〉としての『真知子』 ― 野上弥生子『真知子』の再読 ―

内田 悠 (二松學舎大学大学院文学研究科国文学専攻博士前期課程1年)

坂口安吾「握った手」論 ― 霊肉問題／ファルス／革命

泉 溪春 (二松學舎大学文学部国文学科4年)

武者小路実篤「かちく山」における人間の様相

― 系譜学的視点と同時代の受容を中心に ―

寺澤誠人 (二松學舎大学文学部国文学科4年)

村上春樹「風の歌を聴け」論 ― 自己表現の不可能性の暴露 ―

山本千尋 (二松學舎大学文学部国文学科4年)

### ◆第II会場 (3021教室)

「乾(カン)」「軋(ケン)」字考

藤田拓海 (二松學舎大学大学院文学研究科中国学専攻博士後期課程2年)

虹と平安文学 ― 作品に登場の鮮少な「虹」の謎 ―

田中幸輝 (二松學舎大学文学部国文学科3年)

説話文学から日本と中国の「隠者」を見る

― 『発心集』を中心に ―

劉 瀟雅 (二松學舎大学大学院文学研究科国文学専攻博士後期課程3年)

福永武彦と王朝文学

― 『今昔物語』・『鬼』・『風のかたみ』を中心に ―

小笹健太 (二松學舎大学文学部国文学科4年)

## 二松學舎大学 人文学会事務局

〒101-8336

東京都千代田区三番町六一六

TEL 〇三―五九六二―三三〇四

E-mail

jimbun@nishogakusha-u.ac.jp

※会場には駐車場がありません。

お車での来場は遠慮ください。

●東京メトロ東西線・半蔵門線 都営新宿線

「九段」駅下車、2番出口より徒歩8分

●JR中央線 総武線 東京メトロ有楽町線 東西線・南北線

「飯田橋」駅下車、徒歩15分  
●JR中央線 総武線 東京メトロ有楽町線 南北線 都営新宿線  
「市ヶ谷」駅下車、徒歩15分

会員以外の方の  
ご来聴も歓迎いたします。  
事前申込不要・入場無料

